

## 平成17年度第7回（第21回）役員会議事要旨

日 時 平成17年9月28日（水）11時から12時  
場 所 事務局3階応接室  
出席者 小島学長、西澤理事・副学長、丸山理事・副学長、川崎理事・副学長、  
西口副学長、石崎副学長、佐藤事務局長  
陪席者 赤羽附属図書館長、増子監事、丸山監事

議事に先立ち、議長から、9月16日付けで就任した赤羽附属図書館長の紹介があり、今後、役員会の陪席者とする旨の報告があった。

### 第20回議事要旨について

学長から、第20回議事要旨案について説明があり、案のとおり承認した。

### 議 題

#### 1 平成18年度学内予算編成基本方針（案）について

事務局から、最初に基本方針の最終決定は、10月開催の役員会及び経営協議会の審議を経て、11月開催の役員会で行われる旨の説明があった。続いて、資料1に基づき説明があり、記載内容の確認及び意見交換が行われた。審議の結果、基本方針（案）の方向性について、これを承認した。

また、基本方針の中心となる人件費及び物件費の抑制に関連して、国立大学財務・経営センターが国立大学法人全体の人件費、一般管理費等比率分析についての情報を近々提供予定であるため、本学でも早急に他の工学系大学との比較を中心に比率分析を行うこととした。

なお、主な意見等は次のとおり。

- 平成16年度決算において、本学は他大学と比較して、人件費比率、一般管理費比率が高いのではないか。
- 大学病院を置いていない単科系大学だけで比較すると、本学の人件費比率は低い方に分類される。また、人件費は教職員の数、年齢層、構成比等にも関係してくると考えられる。
- 研究経費、教育経費の捉え方は、光熱水費等の取扱いが各大学により基準が異なるため、数字だけの単純比較は難しい。
- 本学の財務指標について、他大学との比率分析を行うことにより、学内の事情や他大学との経費の捉え方の違い等について、学内に明確な説明ができれば良い。
- 「生物統合工学専攻」の設置予定に伴い、博士後期課程が入学定員増となるが、学生が安心して教育研究に打ち込めるような奨学金制度の充実等、学内での検討が必要ではないか。

〔裏面有り〕

- 2 その他  
なし

## 報 告

- 1 平成16年度に係る業務の実績に関する評価結果について  
事務局から、資料2に基づき、本学の中期計画の進行状況は、どの項目も「計画通り」または「おおむね計画通り」進んでいる旨の報告があった。  
また、学長から、国立大学法人評価委員会の平成17年度以降の評価の方針としては、財務面を中心として数字で示し、大学を相対比較する方向で検討が予定されている旨の報告があった。
  
- 2 監事に対する各系の現状報告について  
学長から、資料3に基づき報告があり、系からの報告後は、事務局で記録書を作成することとし、監事からは意見を付してもらいたい旨の依頼があった。  
なお、日時等、監事の都合が悪い場合においては、後日調整を行うこととした。
  
- 3 附属図書館長の就任について  
学長から、資料4に基づき報告があった。
  
- 4 事務局組織の一部改組について  
学長から、資料5に基づき報告があった。

以 上